

実践例 I 「名寄市立天文台きたすばるの活用」

実施児童

○名寄市立下多寄小学校

活用日

○平成24年8月

教科・単元名

○第4学年理科「夏の星」



活用目的

○月や星を観測したり，全問化に質問したりすることで星に対する知識を養う。

本時の指導案

展開	教師の働きかけ 職員の働きかけ	児童の学習	備考
導入	1 夏の空について知っていることや疑問に思うことを話し合う。 ○ 課題を確認する。 きたすばるを見学し，星はかせに近づこう。		○課題を確認したあと館内へ移動する。
展開	1 プラネタリウムで天体の動きや星座の説明をする。 ・映像「スターリーテイルズ～星座は時をこえて」 ・星の動きや月や太陽の動きを説明する。 2 大型の天体望遠鏡の説明をする。 3 中型の天体望遠鏡を使用し，星を見せる	1 説明を聞き，星座の神話や天体の動きについて学ぶ。 ・星に関する質問を行い，専門家から学ぶ 2 大型の天体望遠鏡がどのような構造になっているかを知る。 3 日中でも見ることのできる星があることを知り，天体観測を行う。	・シリウスなど日中でも観測できる星がある。
まとめ	○今日の学習を振り返り，天体についてわかったことを交流する。 きたすばるを見学して，星はかせに近づくことができた。		

事前の準備・要望

○事前指導1時間+きたすばるでの学習2時間の合計3時間の指導計画で実施。

○児童が星座に関して興味のわく内容の映像を見せてもらうように要望した。

児童からの質問について

Q 珍しい星の名前はありますか？ A 「たこやき」という名の星がある。

Q 星座は全部でいくつあるのですか？ A 全部で88星座ある。

Q アンタレスはなぜ赤いのか？ A 表面温度が低いから ほか

実践例 II 「北国雪国博物館の活用」

実施児童

○中名寄小学校6年生

活用日

○平成24年11月

教科・単元名

○第6学年理科「土地のつくりと変化」



活用目的

- 単元で学習したことを博物館を活用して復習し、自分たちの住む地域の状況と学習したことを一体化させていく。
- 教科書、博物館で学習したことを実際に名寄の地層を使って最終的に学習の確認をし、学習の理解を深める。

本時の指導案

展開	教師の働きかけ 博物館の職員の働きかけ	児童の学習	備考
導入	○課題を確認する。 自分たちの住む名寄の地層はどのような特徴があるのだろうか	教師の働きかけ	○課題を確認したあと館内へ移動する。
展開	<p>1 名寄の土地の特徴について職員から説明をもらう 教師の働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名寄の土地を構成する岩石等を実際に見せてもらい、触れさせてもらう。 職員の働きかけ <p>2 名寄の土地のつくり（地層）について職員から説明をもらう 館内に展示してあるジオラマ等を利用する。 職員の働きかけ</p> <p>3 質問を受ける 職員の働きかけ</p>	<p>1 説明を聞き、名寄の土地の特徴について視覚的に理解する。 ・堆積岩、泥岩、砂岩等</p> <p>2 説明を聞き、名寄の土地のつくり（地層・でき方）について視覚的に理解する。 教師の働きかけ</p> <p>3 見学しての疑問や気付いたこと等を質問する。</p>	<p>○名寄市の天然記念物である高師小僧や鈴石等にも触れてもらい、見せてもらう。</p> <p>○ジオラマを通して実際に観察できない地下の地層の状況や長い年月での変化などをとらえさせる。</p>
まとめ	○館内で名寄の土地について学習した事と、教科書で学習した土地の作りを照らし合わせ、どのようにして土地が作られて行くのかを確認する。 ※引き続き名寄の地層を見学にいき、学習したことを実際に自分の目で確かめることを確認する。 教師の働きかけ		

事前の準備・要望

- 事前に博物館に行き、授業の打ち合わせを行った。（実際に見たいもの、説明して欲しいことを要望した。）
- 名寄の地層について実際に見ることができる場所を教えていただいた。
- 授業に使えるような資料等を先に送付してもらった。

実践例 Ⅲ 「北国雪国博物館の活用」

実施児童

○智恵文小学校3年生

活用日

○平成25年 2月

教科・単元名

○第3学年社会「さぐってみよう昔の暮らし」



活用目的

○昔の道具については、常設展示の他にも収蔵庫にもたくさんの昔の道具があるので、博物館収蔵一覧を確認して、実際に触れ、理解を深める。

○物館の体験学習教材を活用する

本時の指導案

展開	教師の働きかけ 博物館の職員の働きかけ	児童の学習	備考
導入	1 課題を確認する。 昔の道具の移り変わりを調べよう	1 課題を確認する。	
展開	2 昔の道具を調べる。 学芸員さんの説明を聴きながら施設内を見学しながら、昔の道具を調べる。 3 <u>北国博物館体験学習教材</u> を利用 ・洗濯板や手回し洗濯機を使い、実際に洗濯してみる。	2 昔の道具を調べる。 ・道具の名前 ・使われていた時期 ・使い方 ・道具の移り変わり 3 <u>北国博物館体験学習教材</u> を利用 ・作業は大変。 ・時間がかかる。 ・無駄な水を使わない。 ・汚れ分を確認しながら洗える。	○事前の学習で出た疑問点などは、事前に学芸員さんに伝えておくこと詳しい資料を準備していただける。
まとめ	4 感想発表 今日の学習で印象に残ったことや、初めて知ったことなどを中心に感想を発表する。 5 次時の予告をする。 昔の道具を使ってアイロンをかける活動をすることを伝える。		

事前の準備・要望

○博物館収蔵一覧を確認できるように、資料を送付してもらっておく。

○疑問点は事前に学芸員さん伝えておく。

○炭火アイロンは、北国博物館から借りておく。